

バランスの良い花壇作りのポイント

株式会社 サン・ガーデン

土谷美紀

桜の季節を迎え、いよいよ北海道も春本番。花苗の需要も気温の上昇と共にあがっていきます。北海道の春花壇の顔として定着しているパンジー、プリムラ、デージーに加え、夏花壇苗と呼ぶペゴニア、ペチュニア、インパチェンス、サルビア等の花苗も一斉に店頭に並ぶのが北海道の特徴ですが、これは短い夏に花の盛りを迎えるよう、すべての庭仕事が5月に集中してしまうこと。また、長い無彩色な冬の反動で、色鮮やかな花を早く愛でたいと言う気持ちの表れではないでしょうか。

ここでは、花苗生産に携わる立場から、北海道に合った花壇作りについて話を進めていきたいと思います。

1 プランニング

どの場所にどの材料を何株植えるのかという基本にプラスして、庭のどの部分を花でボリューム



写真1 ヨーロッパの街並み。窓辺を飾るゼラニウム。室内の観葉植物と見事にマッチ



写真2 サンフランボワーズ（フランス）の農家の窓辺



写真3 人の道線を意識した歩道

アップするか、また、アプローチを飾るのであれば道路からの眺めを意識して材料や花色を決めるとバランスの良い花壇ができるようです。

材料を考える場合に重要なのは将来の草姿です。9.0 cm ポット苗で育てた苗が土に根を下ろすと、

1年草では葉張り15~20 cm程度に成長します。宿根草ではその種類が多様なため、それぞれの特徴をつかんでプランに入りたいものです。

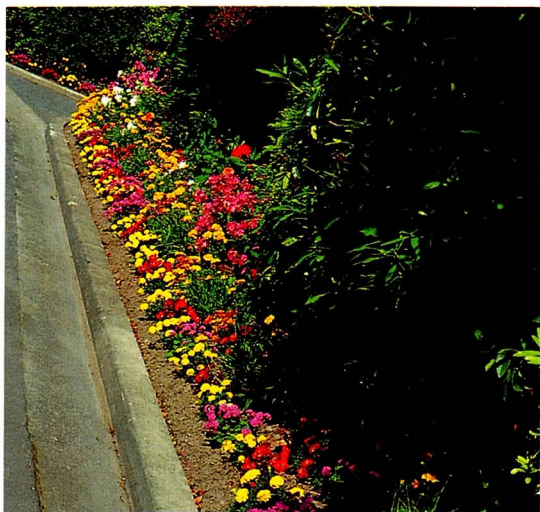


写真4 道路ぎわを飾る1年草苗

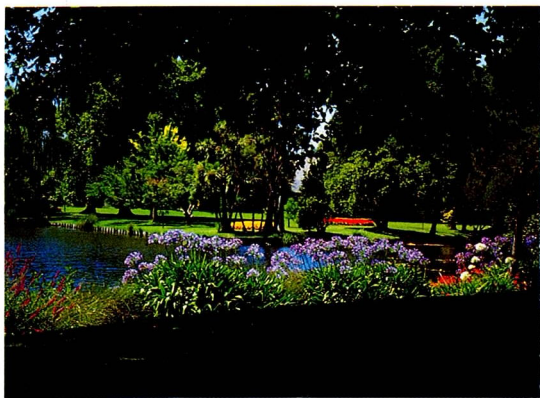


写真5 ニュージーランド・ハグレー公園の水辺

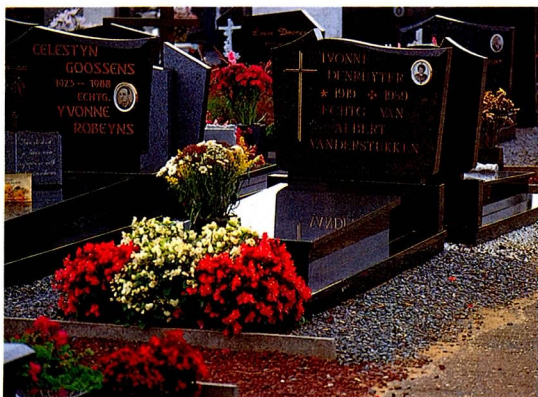


写真6 ヨーロッパのお墓。花で飾られている



写真7 シンプルな家を静かに引き立てる
マリーゴールド

花壇プランを考える作業は楽しいものです。特に好きな材料、好きな色で組み合わせたいものですが、家や塀とのバランスや隣家、まわりの自然林を考慮して材料を選定することをお勧めします。

統一感を出す意識が高ければ、そこが発信源となって美しい庭並み~美しい街並みへと発展していくのではないかと感じます。

2 レイアウト

配置を計画する場合に材料を選ぶポイントになるのは色と形ではないでしょうか。色については、自然の発色である上に2色の交ざりであったり、模様が入っていたりと多岐に及び、例えばインパチェンスのピンクと表現しても、薄ピンク~ローズまで微妙な変化を楽しめるくらいに品種が多様化しています。



写真8 質感の違う花々を上手にアレンジ



写真9 立体花壇



写真10 街路樹の下を彩るインパチェンス（オランダ）

花は種類によりすべて質感が異なるため、想像では奇抜な配色に思える組み合わせでも、葉や花付きの違いで相性が良くなる場合も多く見られません。

また、フォルムの違いを意識して材料選びをすると、立体的な花壇を楽しめます。主として、①草丈が伸びるもの、②幅張りが出るもの、③地面を覆うものにと分類されると考えますが、組み合わせのバランスで花壇の表情が変化します。③部分が広がると全体の景色になじむように感じ、①部分が広がるとインパクトある花壇になりますが、まとまりにくくなります。

プランニングが将来の完成図だとしたならば、レイアウトの作業はその第一歩。色形とも妥協せず計画したいものです。

3 多様化する花壇

花博以後、花壇の様相は大きく変化し、より立

体的なものになっています。材料もよりコンパクトに、花付きの良い矮性種が多くなる傾向にありますが、それとは趣向を異にして、昔から家庭の庭で育まれていた宿根草やアリッサム、ロベリア、ニーレンベルギア、ネモフィラなど小花を散らすような可憐な花の需要が少しずつ増えています。

宿根草花壇を作る場合、花の開花時期をスライドさせ、1年中どこかで花が見られるように計画したいとの注文をよく耳にしますが、大変難しい作業です。品種が限られてしまう上に、質感やフォルムを無視して植え込んでしまうと、統一感や表情に乏しい花壇になりがちです。花のない時期の葉や草姿を觀賞できる宿根草、例えばヤブラン、ナルコユリ、ギボウシなど。また、早春、葉の茂らない時期には球根を使うなどの工夫が必要だと



写真11 コンテナを飾るアリッサムが清そで美しい

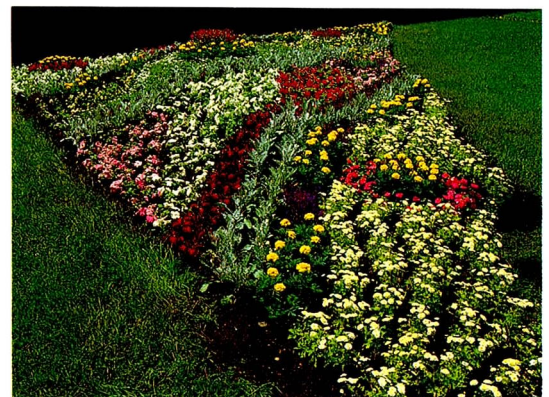


写真12 1年草花壇



写真13 名脇役の小花たち，群生させると美しい

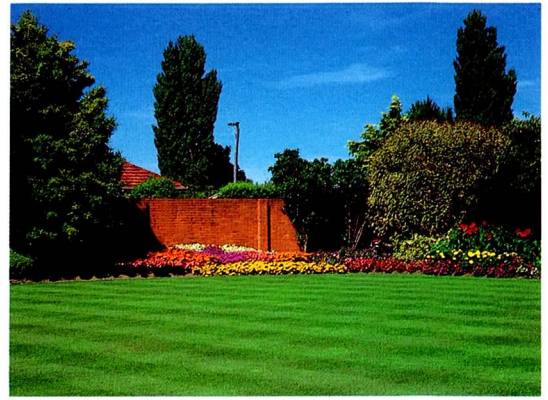


写真15 木と緑と花のバランスが良い風景



写真14 派手な色を使いながら，周りの緑に映える

思います。1年草，宿根草どちらも花壇の主役であり，脇役でもあります。材料を取り巻く環境も時には花を引き立てる場合があります。

広大な芝生の中では，派手な色使いの1年草を組み合わせせていてもスッキリとした印象を抱くでしょう。シンプルな建築物を飾る花苗は多品種を使用しても『うるさい』という感覚は生じないのではないのでしょうか。

花の特性を理解し，レイアウトする作業に磨きをかけて，花苗たちの活躍する場を広げていきたいと思っています。

花と緑で美しい環境づくり

スノーミックスフラワー・シリーズ

SNOW MIXED FLOWER

		北海道向け	府県向け	
			一般地域用	西日本地域用
長期利用	1年草 + 多年草 ミックス	スノーレインボー (オールラウンド)	トール (春秋播き別) ロアー (")	緑化・植生用 (タイプ1) 緑化・植生用 (タイプ2)
		レインボーカーペット (矮性)	ハイランド (寒高冷地) ポピュラー (経済的) カーペット (矮性)	ポピュラー ハイランド
短期利用	1年草 ミックス	エレガンス (高性)	春物語 (秋播き、3タイプ)	
		ファンタジー (矮性)	夏物語 (春播き、2タイプ)	
		スーパーグラデーション (コスモス)	コスモス物語 (3タイプ)	
家庭用小袋			酪農家向け小袋、ガーデン用小袋	